

第 32 回 群馬県中学校空手道大会 要項

(兼 第 31 回全国中学生空手道選手権大会 予選)

- 1 主催 群馬県空手道連盟，群馬県中学校空手道連盟
- 2 後援 群馬県教育委員会，群馬県中学校体育連盟、群馬県武道振興会
- 3 日時 **令和5年 5月21日 (日)**
- 4 会場 ALSOK ぐんま武道館 (大道場、第1道場) / 第2・3会議室
- 5 種目 《計 8種目》
- ◆ 男女 個人形
 - ◆ 男女 個人組手
 - ◆ 男女 団体形
 - ◆ 男女 団体組手
- 6 競技日程
- | | |
|--------|-----------------|
| 競技役員集合 | 8 : 30 |
| 選手受付 | 9 : 00 ~ 9 : 30 |
| 審判会議 | 9 : 15 |
| 開会式 | 9 : 45 |
| 競技開始 | 10 : 00 |
| 閉会式 | 16 : 00 |
- 7 競技規定 (公財) 全日本空手道連盟 (以下「全空連」と記す) 競技規定・審判規定および中学校空手道連盟申し合わせ事項による。
- 8 競技方法

(1) 形競技について

- ① 形競技は、フラッグ制 (トーナメント方式) と得点制の併用とする。
- ② 競技方法は「形競技方法詳細」をもとに実施する。
- ③ 競技者は演武しようとする形名を、競技前に予め記録席に申告すること。

(2) 組手競技について

- ① 組手競技は、トーナメント方式とする。
- ② 競技時間は、男女ともに1分30秒フルタイムとする。
- ③ 競技は6ポイント差、同点の場合は「先取」、「先取」がない場合は判定によって勝敗を決する。
- ④ 安全具を装着すること。(全空連検定品)
 - ・ニューメンホーV~VII (マウスシールド装着)
 - ・拳サポーター (赤・青)
 - ・ボディープロテクター
 - ・セーフティカップ (男子のみ)
 - ・インステップガード、シンガード (全空連検定品) ≠ 高体連
- ⑤ 団体の勝敗は、勝者数、ポイント数で決定する。
- ⑥ 団体組手においては、1・2回戦は勝敗が決しても大将戦を行う。
3回戦以降は勝敗が決した時点で試合を終了する。

(3) 団体種目において、登録された選手内での変更は自由とする。

(4) 出場数が少ない (3名または3校以下) 場合は、リーグ戦をおこなう。団体組手リーグ戦の順位は、チームとしての勝ち数、勝者数、総ポイント数、直

接対決の勝者の順に決定する。

個人組手リーグ戦の順位は、試合の勝ち数、総ポイント数、直接対決の勝者の順に決定する。

9 審判員 群馬県空手道連盟公認審判員

10 参加資格 以下の条件を満たす者。

- (1) 全空連及び群空連会員登録を済ませている者。(1年生で申請中は参加可。)
- (2) 全空連・群空連公認の級位、全空連公認の段位を取得している者。ただし、組手競技参加者は、3級以上とする。
- (3) 学校教育法に定める中学校の生徒で、群馬県内の中学校に在籍し、当該学校長の承認を得た者。
- (4) 上位大会への出場が意志が明確な者。

11 参加制限

- (1) 団体種目については、形・組手共に1中学校男女各1チームとし、正選手3名・補員2名で構成する。(同一中学校に在籍する選手で構成する)
- (2) 団体組手は、1チームの構成が正選手の過半数であれば、エントリーを認める。
- (3) 個人種目については、参加選手の人数制限は設けない。
- (4) 個人種目に登録された選手の変更は認めない。

12 表彰 各種目ともベスト8以上を表彰する。

13 全国大会出場権

(第31回全国中学生空手道選手権大会 8/3～4 東京武道館)

- (1) 推薦出場及び、各種目上位者(上位校)は、全国中学生空手道選手権大会の参加資格を得る。出場数は上位大会要項の定める出場数とする。また、上位入賞者に推薦出場者が含まれる場合、決定戦を行う。

14 参加申込

- (1) 申込期日

4月19日(水)

 : 午後8時までに、

メール及び郵便必着

(以降、一切受け付けません=受信ボックスを開きません)

(2) 申込受付担当者

〒370-0867 高崎市乗附町1006-6 川部 敏和 宛 027-322-6939 / 090-2660-3880

- (3) 参加費 個人種目1種目につき 2,000円。
団体種目1種目につき 4,000円。

大会7日前までに下記口座に振り込むこと。

振込手数料は申込者が負担する。

振込先 群馬銀行 太田支店 普通 2347835 群馬県空手道連盟 財務委員長 塚越治美
--

15 参加上の注意

- (1) 参加選手の引率は、当該校の教職員・保護者、または指導者が行う。

- (2) 応急処置の費用は大会事務局で負担するが、その後の処置については各自で負担すること。(保険証持参のこと)
- (3) 参加団体(道場)の責任者は、選手をスポーツ安全保険に、必ず加入させること。
- (4) 参加選手は、頭髪・爪に注意し、清潔な空手着を着用すること。中学生らしい真摯な態度で競技に臨むこと。
- (5) 参加選手は、白布で作成した学校名胸マーク(胸マークサンプルページ参照)を、左胸にしっかりつけること。つけていない選手は失格とする。
- (6) 上位大会への出場権を得た場合には、やむを得ない事情がある場合を除き、必ず出場すること。

16 その他

- (1) 県内の中学校において日常的に活動している部活動及び同好会については、所属中学枠で申し込むこと。
- (2) 団体責任者名(部活動、同好会においては学校長名、道場においては道場代表者名)を記入のうえ、郵送用には必ず押印すること。連絡責任者名及び連絡先(電話番号)は必ず記入すること。
- (3) 参加の団体(道場)は、1名以上の競技補助員の協力をする事。
- (4) 大会終了後、全国中学生空手道選手権大会の説明をおこなうので、代表権を獲得した学校・個人の責任者は必ず出席すること。
- (5) 全国大会の実施要項が変更になった場合は、上記の規定を変更する場合があります。
- (6) 大会に関する緊急連絡はホームページをご確認ください。

※新型コロナウイルス感染状況により大会要項の変更または中止の場合があります。